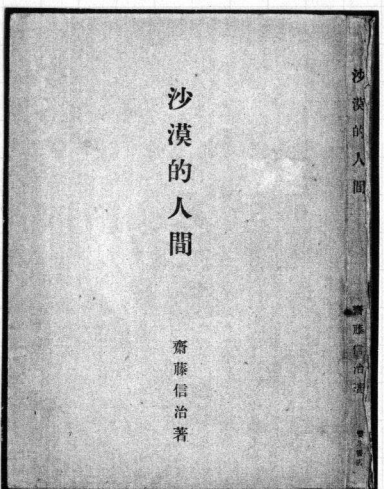


齋藤信治 さいとう しんぢう 哲學者、文學博士。明治四十年九月二十九日山形縣
生れ、昭和五十二年一月一日歿（一九七一年）。昭和九年東北帝國大學
哲學科卒。北海道大學、中央大學各教授歴任。

譯書に、キエルケゲー九著『死に至る病』（昭和十四年十一月）二十九
日岩波書店「岩波文庫」）、ハンス・ハインリッヒ・シェーデル著
『回教に於ける個體』（昭和十九年二月十日理想社）、キエルケゲー
九著『不安の概念』（昭和二十六年七月五日岩波書店「岩波文庫」）、
シユウペンハウエル著『自殺のついで他四篇』（昭和二十七年十月十
五日岩波書店「岩波文庫」）等。著書『實存の形而上學』（昭和十九
年六月二十日櫻井書店）、『沙漠的人間』（昭和二十一年十二月五日
櫻井書店）、『グロイツ文藝學
における悲劇性とその超克』（合著、日本獨文藝會
編、昭和二十四年五月二十日朝文堂書店）等。



沙漠的人間

齋藤信治著